

Ⅱ 経済部施策の概要

1 経済企画局 経済企画課

事業名	産業経済動向調査事業（道単独 平成13～）
目的	北海道の経済政策等の立案・実施に必要な経済・景気動向を広くかつ的確に把握するため、本道経済・景気に係る主要な経済指標などの収集及び分析、道内各地域の現状把握及び道内産業の動向等の調査を行う。
事業の概要	<p>1 月例経済動向の作成 (1) 本道経済の動向を把握するため、生産・雇用・消費等の経済指標の収集及び調査を行い、「最近の経済動向」として毎月公表するとともに、「北海道経済の動向」として毎年公表する。 ○最近の経済動向(毎月下旬に公表予定) ○北海道経済の動向(3月公表)</p> <p>2 道内企業経営者意識調査 (1) 景気の見通し等に対する道内企業経営者の意識を調査し、景気・経済対策の基礎資料とする。 ○年4回調査を実施(4、7、10、1月の各月下旬に公表予定)</p> <p>3 地域経済・景気関連動向調査 (1) 道内の景気・経済動向を把握するため、道央を中心とした企業及び金融機関等から情報を収集して、各種施策の参考資料とする。</p>
道予算額	465千円（⑤:465千円）
連絡先	経済企画課 経済調査係(内線26-926)
備考	令和5年度実績 1 最近の経済動向 毎月(年12回公表) 2 道内企業経営者意識調査 四半期毎(年4回公表) 3 地域経済・景気関連動向調査 延べ67企業に対し調査(R6.3月公表)

事業名	道民経済計算等調査事業（道単独 昭和61～）
目的	北海道の経済活動を生産・分配・支出の各面から体系的に把握して、本道経済の規模や構造等を明らかにするため、道民経済計算の推計及び産業連関表の作成(事務局・北海道開発局)・調査分析を行う。
事業の概要	<p>1 道民経済計算の推計 (1) 本道における1年間の経済的な活動を生産、分配及び支出の各面から推計し、本道経済の実態や産業構造等を明らかにする。 (2) また、道内市町村で実施している市町村民経済計算の推計に対して必要な助言・支援を行う。 ○「令和3年度道民経済計算年報」の作成(令和6年8月の公表を予定) ○「令和4年度道民経済計算」(全道値)の公表(令和7年3月の公表を予定)</p> <p>2 産業連関表の作成及び調査分析 (1) 経済波及効果分析など効果的な経済対策の推進に資するため、北海道産業連関表(事務局:北海道開発局)を作成するとともに、産業連関表の分析手法等に関する調査・情報収集等を行う。</p>
道予算額	260千円（⑤:305千円）
連絡先	経済企画課 経済調査係(内線26-904)
備考	令和5年度実績 令和2年度道民経済計算年報(令和5年10月公表) 令和3年度道民経済計算(全道値)(令和6年3月公表)

事業名	物価高騰等対策特別支援事業費（地方創生臨時交付金）（国庫補助 令和4～）
目的	食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減支援と道産品の消費拡大を図るため、商品券等を配布する。
事業の概要	<p>1.対象児童 平成17年4月2日から令和6年4月1日までに生まれた子ども</p> <p>2.支給対象 （1）道内で対象児童と同居している世帯 （2）道内で対象児童だけで構成する世帯 （3）保護者は道内に在住し、道外で対象児童だけで構成する世帯</p> <p>3.支給品 （1）「おこめギフト券」又は「おこめ券」と牛乳贈答券（5,160円相当分） （2）北海道産の米と牛乳が購入可能な電子クーポン（5,160円相当分） （3）北海道米（ななつぼし / ①精米②無洗米のいずれか）（5,160円相当分（送料含む））</p> <p>4.申請期間 令和6年1月26日（金）から4月30日（火）まで</p>
道予算額	2,947,858千円（令和5年度4定補正）
連絡先	経済企画課 企画係（内線 26-715）
備考	令和5年度実績 申請件数：約34万1千世帯（申請率87.4%）

2 食関連産業局 食産業振興課

現状・課題

○成熟し、縮小する国内市場と世界全体の食市場の拡大

・世界全体の飲食料市場：
(2015年) 890兆円
→ (2030年) 1,360兆円

※出典：農林水産政策研究所
「世界の飲食料市場規模の推計」

○食品工業の付加価値の更なる向上

・本道製造業全体に占める食品工業の割合 (2021年)：
42.1% (全国12.0%)
・食品工業の製造品出荷額 (2021年)
2兆5,800億円 (全国1位)
・食品工業の付加価値額 (2021年)：
7,303億円 (全国4位)

※出典：総務省・経済産業省「経済構造変更調査」

○道内ワイナリー数は最近10年間で約3倍に増加

・道内ワイナリー数
(2013年度) 23ワイナリー →
(2023年度) 64ワイナリー

○食に代表される「北海道」の強いブランド

・都道府県魅力度ランキング：
15年連続1位
※出典：ブランド総合研究所

・どさんこプラザが有楽町の売上額：
(2013年度) 8.9億円
→ (2023年度) 10億円

・都内の自治体アンテナショップ年間総売上額 (2022年度) 1位

※出典：一般財団法人地域活性化センター及び他県へのヒアリング

○物価高騰等の社会経済情勢の変化への対応

令和6年度 食産業振興課の施策体系

目指す姿

食の魅力や価値の向上と世界の展開

○新規・拡充 ●継続 【デジ田】デジタル田園都市国家構想推進交付金(国庫補助)、【臨時】地方創生臨時交付金(国庫補助) 【電源】電力移出県等交付金(国庫補助)、【基金】基金繰入金(ふるさと寄附)	(単位：千円)
食クラスター活動・食産業の強靱化	32,606
○ 地域絶品・食のマーケティング人材育成事業費【デジ田】	
● 成長市場向けマーケティング支援事業費【デジ田】	11,907
● 食品産業エネルギー利用効率向上支援事業費【電源】	10,091
● 地域食品加工技術センター運営事業費	113,774
● 総務管理費(在道都府県協議会負担金)	80
● 総務管理費(地域バイオ育成講座負担金)	102
● 道産食品輸出企業海外進出促進事業費	35,115
○ 海外アンテナショップの支援機能強化による販路拡大推進事業費	59,731
道産食品の輸出拡大	23,753
○ 国内アンテナショップの現状分析・実証事業費【デジ田】	
● どさんこプラザ羽田空港店におけるマーケティング支援事業費【デジ田】	15,028
● 道産品販路拡大促進費(北海道物産観光展示所運営費)	51,614
● 貿易物産振興事業費補助金	14,332
● 道産機能性食品の開発・販路拡大推進事業費【デジ田】	37,469
● 北海道食品機能性表示制度運営費	332
● 食品製造業のマーケティング力強化事業費【デジ田】	6,237
● 道産ワイン高度人材確保事業費【デジ田】	84,580
○ 道産ワイン気候変動対策研究・普及啓発事業費【基金】	20,000
物価高騰等の社会経済情勢の変化に対応した食品製造業への支援	
● 専門家派遣による経営改善集中支援事業費(食産業振興課執行分)	11,152
● 食品市場の需要変化への対応	
合計	527,903

「北海道食の輸出拡大戦略」〈第Ⅲ期 (2024~2028年)〉

《基本戦略の柱》

- I 生産の安定化
- II 商流・物流網の整備
- III 北海道ブランドの浸透・市場拡大
- IV 人材育成・輸出支援体制の強化
- V 輸出品目の拡大・高付加価値化の推進

※目標水準等については、ALPS処理水の海洋放出に伴う輸入規制強化の影響緩和に向け、国や道、関係団体等が一体となって輸出先の多角化や国内外の市場開拓等に取り組んでいるところであり、これらの対策の効果や関係団体等と共有しながら引き続き検討。

事業名	地域絶品・食のマーケティング人材育成事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	北海道ブランドの更なる向上のため、消費ニーズを読み取り、新たな地域の絶品を生み出し、食関連産業を牽引する人材を育成する。
事業の概要	<p>1 地域フード塾</p> <p>(1) 人材育成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ○EC向け商品の開発や販売、プロモーション等の展開ができる人材を育成 ○販路の多様化等に対応できる危機に強い人材を育成 ○首都圏等の大規模市場における販売手法等を学ぶことにより、地域ブランドの牽引や、後進の育成を担うことのできる人材を育成 <p>(2) 成果発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受講生の成果発表、受講生同士の連携による取組の磨き上げ <p>2 地域ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修修了生や受講生等を核に地元企業と連携したEC向け商品開発等
助成対象等	
道予算額	32,606千円 (⑤:19,029千円)
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-820)

事業名	成長市場向けマーケティング支援事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	多様な販路確保のため、ECサイトやスーパーなど新たな成長市場をターゲットとした商品開発の相談会等を実施し、道産食品の磨き上げを図る。
事業の概要	<p>1 商品の磨き上げ</p> <p>個別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販路の多様化に向けた商品開発等の相談会の開催 ○生産現地視察会の実施 <p>2 販路拡大</p> <p>オンライン商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ECサイト等の新たな販路をターゲットとしたオンライン商談会の開催
助成対象等	
道予算額	11,907千円 (⑤:11,907千円)
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-133)

事業名	道産ワイン高度人材確保事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	北海道ブランドの磨き上げを図るため、有望なワイン製造業を担う高度な人材を育成する。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 道産ワイン品質強化研修 <ol style="list-style-type: none"> (1) 新規参入コース(生産・醸造・マーケティング・経営等研修) (2) 高度専門コース(生産・醸造・マーケティング・経営等研修) 2 道産ワインブランド力向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 首都圏等での道産ワインプロモーション (2) 有名ホテル等向け道産ワインプロモーション (3) 富裕層向け道産ワインプロモーション 3 北海道ワインサステナビリティ推進 「北海道-ワインプラットフォーム」を活用した伴走支援
助成対象等	
道予算額	84,580千円 (⑤:84,585千円)
連絡先	食産業振興課 ブランド推進係(内線26-829)

事業名	道産ワイン気候変動対策研究・普及啓発事業費 (基金繰入金(ふるさと寄附) 令和6～)
目的	地域のワイナリーが抱える課題の解決を図るため、気候変動に対応したワイン醸造等に関する研究や普及啓発に取り組む。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 研究 気候変動に対応するぶどう栽培やワイン醸造に関する研究 2 普及啓発 ワイナリーや研究機関を対象に、研究成果の周知、普及
助成対象等	
道予算額	20,000千円
連絡先	食産業振興課 ブランド推進係(内線26-829)

事業名	食品産業エネルギー利用効率向上支援事業費 (国庫補助 平成30～)
目的	食品ロス削減やゼロカーボンの取組に関する実態・課題等を調査するとともに、ゼロカーボン北海道に貢献する工夫を行っている道産食品を表彰し、その取組を普及・啓発する。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 食品ロス削減やゼロカーボンに関する現地ヒアリング及びセミナー等の開催 2 食のゼロカーボン表彰 <ol style="list-style-type: none"> (1) ゼロカーボンに貢献する道内食品生産者等の道産食品を表彰 (2) 対象食品の掘り起こし・受賞商品PR
助成対象等	
道予算額	10,091千円 (⑤:10,091千円)
連絡先	食産業振興課 輸出振興係(内線26-816)
備考	

事業名	地域食品加工技術センター運営事業費（道単独 平成6～）			
目的	道立オホーツク圏地域食品加工技術センター及び道立十勝圏地域食品加工技術センターの管理運営を行うとともに、両財団が行う試験研究や技術指導事業などを支援する。			
事業の概要	業務概要等			
	実施主体	業務・事業	概要	
	北海道	施設の管理	道立地域食品加工技術センターの管理・運営	指定管理者(財団)による管理 道が両財団へ委託
		試験分析事業	企業等からの依頼による加工原料・製品等の試験・分析	
	(公財)オホーツク財団	試験研究事業	圏域の農水産物を原料とする加工食品の開発や製造技術の改良など地域の実情・課題に即したテーマの試験研究開発	道及び北見市、帯広市等による補助
技術指導事業		圏域の企業等の技術力向上のため、総合的な技術指導活動		
(公財)とから財団	情報提供事業	センターの研究成果の発表やセンター業務及び技術情報等の提供		
	人材養成事業	企業等の研究者・技術者の資質向上のため技術講習会を開催		
助成等対象	公益財団法人オホーツク財団、公益財団法人とから財団			
道予算額	113,774千円（⑤:113,994千円）			
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-808)			
備考	【オホーツク圏地域食品加工技術センター】 北見市大正353-19 TEL 0157-36-0680 FAX 0157-36-0686 【十勝圏地域食品加工技術センター】 帯広市西22条北2丁目23-10 TEL 0155-37-8383 FAX 0155-37-8388			

事業名	道産食品輸出企業海外進出促進事業費（国庫補助 平成31～）		
目的	輸出拡大戦略の推進として、輸出に取り組む道内企業の育成と販路拡大の促進を図る。		
事業の概要	1 人材育成 (1) 輸出関連セミナー等の開催 (2) 輸出支援アドバイザーの配置 2 販路拡大 (1) 海外における現地商談会の開催 (2) バイヤー招聘による道内生産現場視察会及び商談の実施		
助成対象等			
道予算額	35,115千円（⑤:35,115千円）		
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-808)		

事業名	北海道物産観光展示所運営費（道単独 昭和45～）
目的	首都圏におけるアンテナショップとして、JR有楽町駅近傍の東京交通会館に、「北海道どさんこプラザ有楽町店」を設置し、道産品の販路拡大を図るとともに、「北海道どさんこプラザ」商標の登録更新等を行う。
事業の概要	<p>1 北海道どさんこプラザ有楽町店の概要</p> <p>(1)設置 平成11年7月20日</p> <p>(2)所在地 東京都千代田区有楽町2丁目10番地1号 東京交通会館(1階、地下1階)</p> <p>(3)面積 261.3㎡(1階 171.9㎡, B1階 89.4㎡)</p> <p>(4)機能 道産品の展示即売、軽飲食、斡旋紹介、マーケティング支援など</p> <p>(5)開業時間 10:00～20:00</p> <p>2 商標の維持・管理 「北海道どさんこプラザ」商標の更新手続等</p>
助成対象等	
道予算額	51,614千円（⑤:46,120千円）
連絡先	食産業振興課 マーケティング係(内線26-817)

事業名	貿易物産振興事業費補助金（道単独 昭和39～）
目的	道産品の販路拡大に係る各施策を効果・効率的に展開するため、(一社)北海道貿易物産振興会が実施する道内企業の販路拡大・物産振興事業に対して補助する。
事業の概要	<p>1 商品流通拡大指導事業 道内企業に対して商品の完成度を高める指導・助言を実施するほか、実践的なセミナーを開催。</p> <p>2 道産品取引マッチング促進事業</p> <p>(1)地域の人気商品や産地情報、イベント計画など道産品に関する幅広い情報をホームページで発信。</p> <p>(2)道内(札幌)及び道外2カ所にて、北海道産品取引商談会を開催。</p> <p>3 主催物産展集客・信頼向上事業</p> <p>(1)道と振興会等が主催する「北海道の物産と観光展」において、「地域の産品、観光、歴史、文化、伝統」などを総合的にPR。</p> <p>(2)物産展の出品商品基準の遵守状況をはじめ、物産展運営全般にわたる現場視察を実施。</p>
助成対象等	一般社団法人北海道貿易物産振興会
道予算額	14,332千円（⑤:14,332千円）
連絡先	食産業振興課 マーケティング係(内線26-817)
備考	<p>○ (一社)北海道貿易物産振興会の概要(令和6年1月31日現在)</p> <p>1 設立 昭和39年7月27日</p> <p>2 代表者 会長 高橋清一郎</p> <p>3 事務所 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センタービル (TEL:011-251-7976)</p> <p>4 会員 405</p> <p>5 目的 北海道の貿易の振興、道産品の販路拡大</p>

事業名	海外アンテナショップの支援機能強化による販路拡大推進事業費（国庫補助 平成31～）
目的	シンガポール及びタイでの道産品アンテナショップを活用し、テスト販売制度等のマーケティング支援機能の充実を図るとともに、商談会・フェアの開催などにより、道産食品のPR及び販路拡大を図る。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 海外向け商品販売指導 海外展開を希望する道内食関連事業者の商品について、海外アンテナショップでのテスト販売を実施する。 2 商談会・フェアの開催 付加価値の高い道産加工食品や一次産品を紹介する商談会・フェアを開催する。 3 テストマーケティング 現地百貨店と連携し、一定期間、道産食品販売コーナーを設置する。
道予算額	59,731千円（⑤:56,603千円）
連絡先	食産業振興課 マーケティング係(内線26-817)

事業名	道産機能性食品の開発・販路拡大推進事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	今後拡大が見込める健康市場向けの機能性食品を開発・販売する人材を育成するとともに、機能性食品の道内外への販路拡大を図る。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 商品の開発 ヘルシーDo創造塾(実践講座)を開催するとともに、伴走型支援(製造現場での指導強化)を実施し、企業の商品開発のサポートを行う。 2 販路の拡大 商談会を開催するとともに、インターネット活用の販売(ECサイト)への出品支援や健康食品への嗜好が高い健康食品取扱小売店等のバイヤーが多く集まる展示会に出展し、開発商品の販路拡大を図る。 3 広報・PR 食品メーカー等への普及啓発や、ヘルシーDo制度のPR資料等の作成を行う。
助成対象等	
道予算額	37,469千円（⑤:37,471千円）
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-808)

事業名	北海道食品機能性表示制度運営費（道単独 平成25～）
目的	平成25年4月からスタートした道独自の食品機能性表示制度である「北海道食品機能性表示制度(愛称:ヘルシーDo(ﾄｯ))」の安定的・効率的な運営を図るため、「北海道食品機能性表示制度懇談会」を運営するほか、認定商品調査を実施する。
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 「北海道食品機能性表示制度懇談会」の運営 ヘルシーDo申請案件について様々な観点から検討するほか、認定基準の改正、その他制度運用に関することについて、学識経験者、消費者団体などから意見を求める懇談会を運営する。 2 認定商品調査 制度の信頼性の向上を図るため、既に認定されている商品について、市場で販売されているものを道が買い取り、民間検査機関等へ依頼し、認定を受けた条件と同量程度の機能性成分が含有されていることを確認する。
助成対象等	
道予算額	332千円（⑤:388千円）
連絡先	食産業振興課 食クラスター係(内線26-808)

事業名	どさんこプラザ羽田空港店におけるマーケティング支援事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	どさんこプラザ羽田空港店において、道内の食関連事業者等に対するマーケティング支援を行い、道産品の販路拡大を図る。
事業の概要	1 テスト販売 新商品に対する消費者の具体的な反応を確かめる店頭でのテスト販売を行うとともに、魅力的な商品ラインナップの充実に繋げていく。 2 マーケティング支援 首都圏のどさんこプラザと連携したマーケティング支援を展開する。
助成対象等	
道予算額	15,028千円 (⑤:15,051千円)
連絡先	食産業振興課 マーケティング係(内線26-817)

事業名	食品製造業のマーケティング力強化事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 平成31～)
目的	北海道の食ブランドの磨き上げを図るため、道産食材を活用した加工食品を審査・認定し、発信する。
事業の概要	1 「北のハイグレード食品」の選定 (1)道産食材を活用した高品質な道産加工品を「北のハイグレード食品」として選定する。 (2)専門家による商品審査を実施し、選考時のアドバイスを事業者へフィードバックする。 2 情報発信 選定商品の発表会の開催や、リーフレット・広告等による商品情報・事業者情報の発信を行い、事業者の販路拡大を支援する。
助成対象等	
道予算額	6,237千円 (⑤:6,237千円)
備考	食産業振興課 ブランド推進係(内線26-829)

事業名	国内アンテナショップの現状分析・実証事業費(デジタル田園都市国家構想交付金) (国庫補助 令和6～)
目的	国内アンテナショップ(どさんこプラザ)について、外部有識者による店舗経営のあり方を検証するとともに、実店舗における検証を行った上で、今後の効果的な店舗運営・展開を検討する。
事業の概要	○有識者会議の設置・運営 1 店舗経営のあり方検討 2 効果的な店舗展開の検証 3 今後の店舗展開方針の取りまとめ
助成対象等	
道予算額	23,753千円
連絡先	食産業振興課 マーケティング係(内線26-817)

3 觀光局 觀光振興課

令和6年度観光局の施策体系の施策体系

本道観光の現状と課題

- 安定した観光入込客数の増加には、災害や感染症、国際情勢などによる影響の縮小化が必要
- 観光消費単価向上には、モノ消費からコト消費への流れへの対応が必要
- ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた新たな旅行スタイルを定着させていくことが必要

北海道観光が将来的にめざす姿

オンリーワン！自然・食・文化を活かした観光地

いつでも！どこでも！何度でも！

誰もが安全・安心・快適に滞在
持続的な観光関連産業の発展

「観光立国北海道」の再構築

目標

観光地づくり

誘客活動

受入体制整備

ウィズコロナ

ポストコロナ

+

施策の展開方向

クリーン×セーフティ北海道
～「安全・安心」で選ばれる観光地～

量×質の追求
～満足度向上と連動した消費単価の向上～

旅行者比率のリバランス

～感染症の状況に応じた誘客対象の最適化～

新しい旅行スタイルの推進

～ワーケーション、AI等新たな北海道観光価値の創出～

観光インフラの強化

～地域における観光インフラの充実～

(単位：千円)

事業名	
① 地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費	180,980
・アドベンチャートラベル推進事業費(再掲)	125,432
・ATガイド人材育成事業(再掲)	31,846
・ATガイド能力向上事業費(再掲)	39,639
・誘客促進強化事業費(再掲)	556,129
・テーマ別観光推進事業(再掲)	35,456
・インバウンド再興事業(再掲)	52,009
・どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費(再掲)	12,720
・北海道観光誘致推進事業費(再掲)	135,525
・アワードプロ活動振興環境整備事業費(再掲)	339
② 広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業費	34,167
③ 観光統計調査事業費	5,696
・誘客促進強化事業費(再掲)	556,129
・どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費(再掲)	12,720
・地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(再掲)	180,980
・広域観光周遊促進事業費(再掲)	108,520
・アドベンチャートラベル推進事業費(再掲)	125,432
・ATガイド人材育成事業(再掲)	31,846
・ATガイド能力向上事業費(再掲)	39,639
・ユニバーサルツーリズム推進事業費(再掲)	19,873
・北海道観光誘致推進事業費(再掲)	135,525
・北海道ローテーション誘致推進費(再掲)	274
④ 北海道教育旅行活性化事業費	23,240
⑤ 誘客促進強化事業費	556,129
⑥ どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費	12,720
⑦ 北海道ローテーション誘致推進費	12,714
⑧ テーマ別観光推進事業	35,456
⑨ インバウンド再興事業	52,009
・地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(再掲)	180,980
・広域観光周遊促進事業費(再掲)	108,520
・アドベンチャートラベル推進事業費(再掲)	125,432
・ATガイド人材育成事業(再掲)	31,846
・ATガイド能力向上事業費(再掲)	39,639
・MICE誘致支援事業費(再掲)	28,454
・北海道観光誘致推進事業費(再掲)	135,525
⑩ アドベンチャートラベル推進事業費	125,432
⑪ MICE誘致支援事業費	28,454
⑫ アワードプロ活動振興環境整備事業費	339
⑬ 新しいガイドの実現に向けた環境整備事業	8,650
⑭ ATガイド人材育成事業	31,846
⑮ ATガイド能力向上事業	39,639
・地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(再掲)	180,980
⑯ 広域観光周遊促進事業費	108,520
⑰ 観光人材育成事業	25,779
⑱ 観光人材発掘事業	40,814
⑲ エコバーサザンツーリズム推進事業	19,873
⑳ 持続可能な観光地推進事業	4,625
㉑ 北海道観光誘致推進事業費	135,525
㉒ 北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費	37,695
㉓ 住宅宿泊事業法関連推進事業	13,015
・地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費(再掲)	180,980
・新しいガイドの実現に向けた環境整備事業(再掲)	8,650
・アワードプロ活動振興環境整備事業費(再掲)	339

(単位：千円)

令和6年度観光局予算計上 (観光局事業 71,700 機構負担金1,444,918)	1,516,618
---	-----------

◎=新規、拡充 ○=継続 ※最も合致する展開方向を本場とし、その他は再掲とす

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた感染拡大防止と社会経済活動への影響の最小化

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた感染拡大防止と社会経済活動への影響の最小化

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた感染拡大防止と社会経済活動への影響の最小化

事業名	北海道教育旅行活性化事業費（道単独 平成25～、国庫補助 令和2～5、道単独 令和6～）	
目的	北海道への教育旅行の誘致を図るため、情報発信及び関係者に対するプロモーションを実施する。	
事業の概要	区分	内容
	情報発信	○教育旅行誘致に向けた情報発信 ・教育旅行サイトによる情報発信 ・道外の教育旅行関係者等へのプロモーション、セールス活動
	関係者招聘	○道外の旅行会社、教育関係者の招へい
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	23,240千円（⑤：23,240千円）	
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-580)	

事業名	地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業費 (道単独 平成28～、国庫補助 令和2～5、道単独 令和6～)	
目的	多様化する観光客ニーズに対応するため、地域の受け入れ体制の整備や満足度の高い観光地づくりを推進し、交流人口や観光消費の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図る。	
事業の概要	区分	内容
	対象	市町村、観光協会等を中心とした協議会等
	実施箇所	[地域単独] 34箇所程度 [広域連携] 17箇所程度 [DMO枠]7箇所
	助成内容	[地域単独] 上限額 200万円 [広域連携] 上限額 400万円 [DMO枠] 上限額1000万円
	対象経費	地域の観光資源を活用した商品づくりや二次交通の整備等、地域が取り組む観光地づくりや受入体制の整備に必要な経費
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	180,980千円（⑤：180,980千円）	
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-561)	

事業名	広域観光周遊促進事業費（道単独 平成28～）	
目的	道内各地の拠点となる空港を核とした魅力あるモデルルートを形成するとともに、地域への周遊促進に向けて二次交通の利便性向上に取り組むことで、インバウンド等の需要の地域偏在の解消を図る。	
事業の概要	区 分	内 容
	モデルルート企画	○専門家の招へいや、ワークショップの開催等により、道内空港を拠点としたモデルルートを企画
	旅行商品造成	○海外旅行会社等と企画したモデルルートを検証し、旅行商品を造成
	情報発信	○造成した旅行商品の販売促進
	二次交通利便性向上	○バス位置の検索やデータ分析の実証実験を実施する
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	98,230千円（⑤：108,520千円）	
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-567)	

事業名	ユニバーサルツーリズム推進事業費（デジタル田園都市国家構想交付金）(国庫補助 令和元～)	
目的	誰もが安全・安心に旅行を楽しめる「ユニバーサルツーリズム」の実現に向けて、様々なニーズを持つ旅行者が道内旅行を楽しむことができる受入体制整備を推進する。	
事業の概要	区 分	内 容
	バリアフリー対応	○道内のバリアフリー観光に関するサービス・情報発信の強化を実施 ○道内におけるサービス充実のため、観光関連事業者、自治体を対象としたバリアフリー対応ノウハウ習得セミナーを開催
	ホスピタリティ向上	○子ども向け観光学習教材を活用した取組の実施 ○インバウンド受入体制の強化
	食のユニバーサル	○ムスリム・ベジタリアン等の方々への食に対応したデータベース(HP)の更新 ○ベジタリアン・ヴィーガン等食文化理解促進等のためのワークショップを開催
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	19,873千円（⑤:19,873千円）	
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-588)	

事業名	北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費（道単独 平成18～）
目的	本道が高い競争力を持つ「食」と「観光」の魅力をアピールする総合情報拠点として、「北海道さっぽろ『食と観光』情報館」を札幌市との連携のもと運営する。
事業の概要	【北海道さっぽろ「食と観光」情報館の概要】 1 設置 平成19年2月1日 2 所在地 JR札幌駅1階西側コンコース 3 設置面積 1,165㎡ 4 機能 観光案内、道産品の展示即売など
助成対象等	—
道予算額	37,672千円（⑤:37,695千円）
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-569)

事業名	観光人材育成事業費（デジタル田園都市国家構想交付金）（国庫補助 平成28～）				
目的	北海道観光の受入体制整備を推進するため研修を実施し、観光人材の育成を図る。				
事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>外国語ガイド育成研修</td> <td>通訳案内士を含む通訳ガイドの技能向上のための座学や実践的な研修を実施し、インバウンドの受入体制整備を進める。</td> </tr> <tr> <td>従業員研修</td> <td>地域の観光関係事業の従事者等を対象とした外国人観光客等への対応に関する研修を実施</td> </tr> </table>	外国語ガイド育成研修	通訳案内士を含む通訳ガイドの技能向上のための座学や実践的な研修を実施し、インバウンドの受入体制整備を進める。	従業員研修	地域の観光関係事業の従事者等を対象とした外国人観光客等への対応に関する研修を実施
外国語ガイド育成研修	通訳案内士を含む通訳ガイドの技能向上のための座学や実践的な研修を実施し、インバウンドの受入体制整備を進める。				
従業員研修	地域の観光関係事業の従事者等を対象とした外国人観光客等への対応に関する研修を実施				
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構				
道予算額	25,779千円（⑤:44,330千円）				
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-567)				

事業名	観光人材発掘事業費（デジタル田園都市国家構想交付金）（国庫補助 令和6～）										
目的	人手不足が著しい宿泊業に対し、学生等へ職場見学会等を通じ、宿泊業への就業を図る。										
事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>事業周知・募集</td> <td>・宿泊事業者、大学生、高校生に対する事業周知のための説明会の開催、 ・出前講座やインターンシップ等の参加者の募集</td> </tr> <tr> <td>出前講座</td> <td>道内外の大学等へ観光関連職員等を派遣し、宿泊業の魅力を伝える出前講座を実施</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ</td> <td>道内の各宿泊施設において、道内外からの大学生等を対象としたインターンシップを実施</td> </tr> <tr> <td>職場見学会</td> <td>道内の各宿泊施設において、高校生を対象とした1日職場見学・体験を実施</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ</td> <td>・宿泊事業者へ外国人材を含めた受入体制整備に係る専門家派遣 ・インターンシップ等の参加大学生等への就職、移住制度等の情報提供・相談対応</td> </tr> </table>	事業周知・募集	・宿泊事業者、大学生、高校生に対する事業周知のための説明会の開催、 ・出前講座やインターンシップ等の参加者の募集	出前講座	道内外の大学等へ観光関連職員等を派遣し、宿泊業の魅力を伝える出前講座を実施	インターンシップ	道内の各宿泊施設において、道内外からの大学生等を対象としたインターンシップを実施	職場見学会	道内の各宿泊施設において、高校生を対象とした1日職場見学・体験を実施	フォローアップ	・宿泊事業者へ外国人材を含めた受入体制整備に係る専門家派遣 ・インターンシップ等の参加大学生等への就職、移住制度等の情報提供・相談対応
事業周知・募集	・宿泊事業者、大学生、高校生に対する事業周知のための説明会の開催、 ・出前講座やインターンシップ等の参加者の募集										
出前講座	道内外の大学等へ観光関連職員等を派遣し、宿泊業の魅力を伝える出前講座を実施										
インターンシップ	道内の各宿泊施設において、道内外からの大学生等を対象としたインターンシップを実施										
職場見学会	道内の各宿泊施設において、高校生を対象とした1日職場見学・体験を実施										
フォローアップ	・宿泊事業者へ外国人材を含めた受入体制整備に係る専門家派遣 ・インターンシップ等の参加大学生等への就職、移住制度等の情報提供・相談対応										
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構										
道予算額	40,814千円（⑤:—）										
連絡先	観光振興課 観光地づくり係(内線26-567)										

事業名	広域連携DMOとしてのデジタルマーケティング事業費 (デジタル田園都市国家構想交付金)(国庫補助 令和2～)					
目的	観光誘客促進を図るため、マーケティングデータの収集・分析等を実施する。					
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>デジタルマーケティング調査</td> <td>○道内観光消費動向調査、旅ナカにおける観光客の動態を調査・分析</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内 容	デジタルマーケティング調査	○道内観光消費動向調査、旅ナカにおける観光客の動態を調査・分析
区 分	内 容					
デジタルマーケティング調査	○道内観光消費動向調査、旅ナカにおける観光客の動態を調査・分析					
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構					
道予算額	34,167千円 (⑤ : 44,264千円)					
連絡先	観光振興課 主査(観光企画)(内線26-586)					

事業名	観光統計調査事業費 (道単独 平成9～)									
目的	本道における観光入込客数などを調査し、観光振興施策推進の基礎資料とする。									
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数調査</td> <td>○北海道における観光入込客数の実人数を推計 (年4回、四半期毎に実施)</td> </tr> <tr> <td>市町村観光入込客数調査</td> <td>○市町村ごとに観光入込客数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)</td> </tr> <tr> <td>市町村訪日外国人宿泊客数調査</td> <td>○市町村ごとに訪日外国人宿泊者数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内 容	観光入込客数調査	○北海道における観光入込客数の実人数を推計 (年4回、四半期毎に実施)	市町村観光入込客数調査	○市町村ごとに観光入込客数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)	市町村訪日外国人宿泊客数調査	○市町村ごとに訪日外国人宿泊者数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)
区 分	内 容									
観光入込客数調査	○北海道における観光入込客数の実人数を推計 (年4回、四半期毎に実施)									
市町村観光入込客数調査	○市町村ごとに観光入込客数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)									
市町村訪日外国人宿泊客数調査	○市町村ごとに訪日外国人宿泊者数の延べ人数を集計 (年2回、上期・下期に実施)									
助成対象等	—									
道予算額	5,696千円 (⑤ : 5,696千円)									
連絡先	観光振興課 主査(観光企画)(内線26-586)									

事業名	北海道観光誘致推進事業費（道単独 平成16～）	
目的	本道観光の振興を図るため、(公社)北海道観光振興機構が実施する各種観光振興事業を支援し、観光事業の健全な発展を図る。	
事業の概要	区 分	内 容
	国際観光推進事業	○東アジアやオーストラリア等からの観光客誘致を積極的に実施
	地域プロモーション事業	○道内各地(4地域)の特性を活かしたプロモーション事業を地域と連携して実施
	観光PR催事事業	○全国で開催される観光PR 催事への出展等
	全国広域観光推進事業	○(公社)日本観光振興協会が実施する各種事業等に対し拠出
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	135,525千円 (⑤: 135,525千円)	
連絡先	観光振興課	主査(観光企画) (内線26-586) 観光地づくり係 (内線26-588) 誘客係 (内線26-583)

事業名	住宅宿泊事業法関連事業費（道単独 平成30～）	
目的	民泊を活用した誘客拡大と民泊による近隣住民とのトラブルの解消を目的に施行された「住宅宿泊事業法」を適正に執行する。	
事業の概要	区 分	内 容
	届出・受理	○届出受付・審査、台帳管理、番号通知、データ整理、関係部局への情報提供
	苦情・通報	○道民からの相談、苦情・通報対応、関係機関への対応依頼を実施する。 なお、道民からの相談、苦情・通報対応は外部委託も活用 ・北海道・札幌市民泊コールセンター
	検 査	○住宅宿泊事業が適切に運営されていることを実地検査により確認する。 ・定期検査(商工労働観光課)・・・初回検査及び定期検査の実施 ・特別検査(観光局)・・・苦情通報等により必要に応じて実施
	制度周知	○申請の手引き・周知パンフレット等の配布など、情報発信を実施する。
道予算額	13,015千円 (⑤: 13,073千円)	
連絡先	観光振興課 民泊係(内線26-577)	

事業名	持続可能な観光地づくり推進事業費（道単独 令和6～）							
目的	国際的認証・表彰取得に向けた研修会等を実施する。							
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会</td> <td>○国際的認証・表彰取得に向けた研修会</td> </tr> <tr> <td>調査</td> <td>○持続可能な観光地づくりに取り組む全道の実態の調査・分析</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	研修会	○国際的認証・表彰取得に向けた研修会	調査	○持続可能な観光地づくりに取り組む全道の実態の調査・分析
区分	内容							
研修会	○国際的認証・表彰取得に向けた研修会							
調査	○持続可能な観光地づくりに取り組む全道の実態の調査・分析							
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構							
道予算額	4,625千円（⑤：—）							
連絡先	観光振興課 主査(観光企画)(内線26-586)							

事業名	MICE誘致支援事業費（道単独 平成元～）									
目的	本道へのMICE誘致を促進するため、国内外でのプロモーション強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して助成する。									
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>博覧会出展</td> <td>○国際MICEエキスポ(IME)への出展</td> </tr> <tr> <td>商談会等</td> <td>○道内各地域の特色ある資源を活かした取組のメニュー化支援及び国内外のMICE主催者、旅行会社等に対するプロモーション活動を実施</td> </tr> <tr> <td>誘致促進助成金</td> <td>○本道で開催される国際的または全国的な規模で開催されるコンベンション主催者に対して助成</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	博覧会出展	○国際MICEエキスポ(IME)への出展	商談会等	○道内各地域の特色ある資源を活かした取組のメニュー化支援及び国内外のMICE主催者、旅行会社等に対するプロモーション活動を実施	誘致促進助成金	○本道で開催される国際的または全国的な規模で開催されるコンベンション主催者に対して助成
区分	内容									
博覧会出展	○国際MICEエキスポ(IME)への出展									
商談会等	○道内各地域の特色ある資源を活かした取組のメニュー化支援及び国内外のMICE主催者、旅行会社等に対するプロモーション活動を実施									
誘致促進助成金	○本道で開催される国際的または全国的な規模で開催されるコンベンション主催者に対して助成									
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構、北海道MICE誘致推進協議会、コンベンション主催者									
道予算額	28,454千円（⑤：33,022千円）									
連絡先	観光振興課 主査(MICE)(内線26-556)									

事業名	アドベンチャートラベル推進事業費（国庫補助 令和2～、道単独 令和6～）	
目的	ATWS2023開催で得られた諸課題に対応した受入体制の構築、戦略的な市場開拓及び地域のAT推進の取組を支援し、本道観光の高付加価値化を進める。	
事業の概要	区 分	内 容
	ATの受入体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ○高い顧客ニーズに対応した商品造成や磨き上げ ○北海道のATの魅力を伝える映像制作及び発信、旅行博出展、本州AGTの招聘、ポータルサイトを活用した情報発信 ○国内向け情報発信、商談会 ○海外向けATガイドPR
	道内AT取組地域の支援	○新たなAT開始希望地域へ専門家等を派遣し助言
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構	
道予算額	125,432千円（⑤：96,165千円）	
連絡先	観光振興課 主査(AT企画)(内線26-568)	

事業名	アウトドア活動振興環境整備事業費（道単独 平成23～）	
目的	アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営やアウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。	
事業の概要	区 分	内 容
	個人資格等認定登録・管理	○資格証書等の作成・交付(資格認定証、携帯証作成等)、試験実施状況等確認
	資格制度運営管理	○北海道アウトドア資格制度推進会議開催、ガイド意見等調査
	制度普及	○資格制度普及PR
助成対象等	—	
道予算額	339千円（⑤：368千円）	
連絡先	観光振興課 主査(AT調整)(内線26-597)	
備考	北海道アウトドア体験のホームページ https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/500-outdoor/	

事業名	ATガイド人材育成事業費（国庫補助 令和5～、道単独 令和6～）					
目的	海外富裕層が求める高付加価値旅行に対応できる人材等を確保するため、研修等を実施する。					
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 材 育 成</td> <td> ○野外救急法研修 ○スルーガイド(安全管理、顧客管理)研修 ○インタープリテーション※研修 ※自然・文化・歴史を分かりやすく人々に伝える行為・技能 </td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内 容	人 材 育 成	○野外救急法研修 ○スルーガイド(安全管理、顧客管理)研修 ○インタープリテーション※研修 ※自然・文化・歴史を分かりやすく人々に伝える行為・技能
区 分	内 容					
人 材 育 成	○野外救急法研修 ○スルーガイド(安全管理、顧客管理)研修 ○インタープリテーション※研修 ※自然・文化・歴史を分かりやすく人々に伝える行為・技能					
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構					
道予算額	31,846千円（⑤：31,846千円）					
連絡先	観光振興課 主査(AT調整)(内線26-597)					

事業名	ATガイド能力向上事業費（道単独 令和6～）					
目的	ATWS2023開催で得られた諸課題に対応するため、ガイドの能力向上に係る研修、地域間のネットワーク構築等を実施する。					
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガイド能力向上</td> <td> ○海外トップガイド研修 ○地域間プラットフォーム構築 </td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内 容	ガイド能力向上	○海外トップガイド研修 ○地域間プラットフォーム構築
区 分	内 容					
ガイド能力向上	○海外トップガイド研修 ○地域間プラットフォーム構築					
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構					
道予算額	39,639千円（⑤：—）					
連絡先	観光振興課 主査(AT調整)(内線26-597)					

事業名	新しいガイド制度の実現に向けた環境整備事業費（国庫補助 令和5～、道単独 令和5～）					
目的	海外富裕層に対応できる環境整備のため、道ATガイド制度の運営等を行う。					
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ATガイド制度運営</td> <td>○北海道ATガイド認定等制度の運営</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	内 容	ATガイド制度運営	○北海道ATガイド認定等制度の運営
区 分	内 容					
ATガイド制度運営	○北海道ATガイド認定等制度の運営					
助成対象等	—					
道予算額	8,650千円（⑤：28,878千円）					
連絡先	観光振興課 主査(AT調整)(内線26-597)					

事業名	誘客促進強化事業費																			
目的	国内外でのPRやマスコミ等の活用により、道内外観光客の誘客を推進する。																			
事業の概要	<p>【国内誘客】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">情報発信</td> <td>記者発表</td> <td>○首都圏等でのマスコミ向け記者発表会の実施</td> </tr> <tr> <td>メディア向け情報提供</td> <td>○全国のTV局とタイアップ ○タイアップ記事作成</td> </tr> <tr> <td>アプリ開発</td> <td>○アプリの機能強化等</td> </tr> <tr> <td>各種イベント</td> <td>道外PR</td> <td>○道内直行便運航地域でのプロモーション ○WEB・SNSによるプロモーション</td> </tr> </tbody> </table> <p>【海外誘客】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンテンツ整備</td> <td>○各種PRツールの作成(パンフ、ノベルティ、ウェブサイト、動画等)</td> </tr> <tr> <td>プロモーション</td> <td>○各種プロモーション(フリーペーパー作成、旅行博出展、商談会等) ○デジタルメディアの活用によるプロモーション(バーチャル型観光ツール、SNS情報発信等)</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	情報発信	記者発表	○首都圏等でのマスコミ向け記者発表会の実施	メディア向け情報提供	○全国のTV局とタイアップ ○タイアップ記事作成	アプリ開発	○アプリの機能強化等	各種イベント	道外PR	○道内直行便運航地域でのプロモーション ○WEB・SNSによるプロモーション	区分	内容	コンテンツ整備	○各種PRツールの作成(パンフ、ノベルティ、ウェブサイト、動画等)	プロモーション	○各種プロモーション(フリーペーパー作成、旅行博出展、商談会等) ○デジタルメディアの活用によるプロモーション(バーチャル型観光ツール、SNS情報発信等)
区分	内容																			
情報発信	記者発表	○首都圏等でのマスコミ向け記者発表会の実施																		
	メディア向け情報提供	○全国のTV局とタイアップ ○タイアップ記事作成																		
	アプリ開発	○アプリの機能強化等																		
各種イベント	道外PR	○道内直行便運航地域でのプロモーション ○WEB・SNSによるプロモーション																		
区分	内容																			
コンテンツ整備	○各種PRツールの作成(パンフ、ノベルティ、ウェブサイト、動画等)																			
プロモーション	○各種プロモーション(フリーペーパー作成、旅行博出展、商談会等) ○デジタルメディアの活用によるプロモーション(バーチャル型観光ツール、SNS情報発信等)																			
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構																			
道予算額	556,129千円 (⑤:505,776千円)																			
連絡先	観光振興課 誘客係(内線26-587)																			

事業名	どさんこ旅サロン(北海道さっぽろ観光情報センター)の運営・利用促進事業費 (道単独 平成28～)					
目的	首都圏において北海道観光の魅力をアピールする情報発信拠点として、札幌市と連携して東京・有楽町に設置した「どさんこ旅サロン」を運営する。					
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どさんこ旅サロンの運営</td> <td>○本道の観光情報の発信や相談対応を行い、首都圏からの誘客につなげる ・設置場所:札幌市東京事務所内(有楽町東京交通会館 3階)</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	どさんこ旅サロンの運営	○本道の観光情報の発信や相談対応を行い、首都圏からの誘客につなげる ・設置場所:札幌市東京事務所内(有楽町東京交通会館 3階)
区分	内容					
どさんこ旅サロンの運営	○本道の観光情報の発信や相談対応を行い、首都圏からの誘客につなげる ・設置場所:札幌市東京事務所内(有楽町東京交通会館 3階)					
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構					
道予算額	12,720千円 (⑤:12,720千円)					
連絡先	観光振興課 誘客係(内線26-583)					

事業名	北海道ロケーション誘致推進費（道単独 平成13～）											
目的	本道が有する映像資源を活用し、地域の知名度向上やロケ地観光の振興を図るため、ロケーション支援窓口を庁内に設置し、ロケ誘致に結びつく取組を実施する。											
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ロケ誘致拡大事業</td> <td>ロケ情報の発信・PR</td> <td>○道内でのロケを誘致するため、道内のロケに係る情報を広く発信</td> </tr> <tr> <td>制作者等への支援</td> <td>○道内撮影に関する総合窓口機能(ワンストップサービスの提供等) ○制作者からの照会に対する情報(現地情報・交通等)の提供、誘致希望市町村とのマッチング</td> </tr> <tr> <td>ロケ地づくり環境事業</td> <td>ロケの円滑実施のための連携強化</td> <td>○ロケを円滑に実施するため、道、市町村、民間の連携によるネットワーク形成</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	ロケ誘致拡大事業	ロケ情報の発信・PR	○道内でのロケを誘致するため、道内のロケに係る情報を広く発信	制作者等への支援	○道内撮影に関する総合窓口機能(ワンストップサービスの提供等) ○制作者からの照会に対する情報(現地情報・交通等)の提供、誘致希望市町村とのマッチング	ロケ地づくり環境事業	ロケの円滑実施のための連携強化	○ロケを円滑に実施するため、道、市町村、民間の連携によるネットワーク形成
区分	内容											
ロケ誘致拡大事業	ロケ情報の発信・PR	○道内でのロケを誘致するため、道内のロケに係る情報を広く発信										
	制作者等への支援	○道内撮影に関する総合窓口機能(ワンストップサービスの提供等) ○制作者からの照会に対する情報(現地情報・交通等)の提供、誘致希望市町村とのマッチング										
ロケ地づくり環境事業	ロケの円滑実施のための連携強化	○ロケを円滑に実施するため、道、市町村、民間の連携によるネットワーク形成										
助成対象等	—											
道予算額	274千円（⑤:274千円）											
連絡先	観光振興課 誘客係(内線26-583)											
備考	北海道ロケーション連絡室のホームページ https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/location.html											

事業名	インバウンド再興事業費（道単独 令和5～）							
目的	本格的なインバウンド回復に向けて、市場特性や旅行者ニーズに応じたプロモーションやアウトバウンド送客等の交流促進による誘客強化を図る。							
事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>富裕層向けプロモーション</td> <td>○海外旅行会社HP等への特設ページ掲載 ○海外メディア招へい、フリーペーパー作成</td> </tr> <tr> <td>国際交流促進 (アウトバンド対策)</td> <td>○北海道発の旅行商品造成</td> </tr> </tbody> </table>		区分	内容	富裕層向けプロモーション	○海外旅行会社HP等への特設ページ掲載 ○海外メディア招へい、フリーペーパー作成	国際交流促進 (アウトバンド対策)	○北海道発の旅行商品造成
区分	内容							
富裕層向けプロモーション	○海外旅行会社HP等への特設ページ掲載 ○海外メディア招へい、フリーペーパー作成							
国際交流促進 (アウトバンド対策)	○北海道発の旅行商品造成							
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構							
道予算額	52,009千円（⑤:52,009千円）							
連絡先	観光振興課 誘客係(内線26-572)							

事業名	テーマ別観光推進事業費（道単独 令和5～）		
目的	本格的なインバウンド回復に向けて、ワイン・ツーリズムやケア・ツーリズムなど高付加価値な旅行について、新たな市場特性や旅行者ニーズ等に応じたプロモーションを実施。		
事業の概要	区 分		
	プロモーション	現 地 イ ベ ント	○海外での現地イベントへの出展
		セミナー・商談会	○現地セミナー・商談会の開催による旅行商品造成
		海外メディア招聘	○海外メディアの招へいによるプロモーション映像等の制作 ○旅行会社の招へいによる旅行商品造成
		パンフレット・Web制作	○道内イベント用のパンフレット制作(英語等) ○バナー広告等の制作
	各 種 調 査		○マーケティング調査
助成対象等	(公社)北海道観光振興機構		
道予算額	35,456千円（⑤:56,756千円）		
連絡先	観光振興課 誘客係(内線26-572)		